

## ニホンツキノワグマと人のより良い関係を考える シリアスゲームの開発と保全教育プログラムの実践

盛岡市動物公園ZOOMO/  
株式会社もりおかパークマネジメント

盛岡市動物公園ZOOMOは、人、動物、環境（生態系）の健康は相互に関連している一つである”という考え方「One World-One Health」を理念に掲げ、野生生物の保全のみならず、自然環境の保全、人の福祉、動物の福祉（Animal Welfare）に資する事業を展開しています。現在飼育している動物たちの「動物の福祉」に配慮した飼育展示を心がけ、動物たちのQOLの向上や、その動物種らしい行動や暮らしが発現できる飼育環境の多様さと選択肢を提供することを目指しています。

### 【活動背景】

県内には約3700頭のニホンツキノワグマが生息していますが、農作物被害や人身被害、市街への出没が増えたことにより、有害鳥獣捕殺が行われています。しかし、人とクマの軋轢の多くは、人の暮らしの変化やクマへの不理解、人の不注意に起因するものも多く、その対策が必要とされています。

### 【活動目的】

ニホンツキノワグマと人とのかわりに関する社会課題解決を目的としたシリアスゲームの開発、それを活用した保全教育プログラムの開発・実践を通して、正しい知識と防除対策についての普及、子どもたちの学びを支援し、地域の生物多様性の保全に資することが目的です。

シリアスボードゲーム「クマと僕らの物語」に挑戦している様子→



### 【助成金の用途・活動結果】

助成金はシリアスゲームの開発費用の一部に充てられました。完成したシリアスボードゲームを活用した教育プログラムの一環として、様々な世代層を対象にワークショップを開催しました。また活動内容がメディアにも取り上げられたことで、より広い層に活動を知ってもらうことができました。さらに今回の取り組みを切り口に、様々な企業や団体からの賛同が得られ、今後も普及啓発活動の拡大が期待されます。

### 【団体からのメッセージ】

この度は当園のプロジェクトをご支援いただきありがとうございました。  
2023年度末のシリアスボードゲーム完成以降、多くの自治体や団体、施設、メディアなどからお問い合わせをいただき、ボードゲームを組み込んだ教育プログラムの実践やファシリテーターの養成、研修や教育機関での授業などを実施してまいりました。今後より多くの方々に活用していただき、地域の生物多様性保全の一助となる質の高い保全教育活動ができるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。